



もてなしの心で語る わが街

# えな自慢

えな自慢  
えな祭 65

## 地歌舞伎

江戸時代からの伝統



▲伝統芸能大会で公演した飯地五毛座歌舞伎

### ひと口メモ

日本三大地歌舞伎には、当市も含む中山道美濃の国の美濃歌舞伎の他に、小田原を中心とした相模地方の相模歌舞伎、西国から京に至る事実上山陽道の終点ともいえる播磨の国（現在の兵庫県）の播州歌舞伎がある。

地芝居のうちでも農民など素人が演じる歌舞伎を特に地歌舞伎と呼ぶ。日本三大地歌舞伎の里と呼ばれるここ東濃地方。始まりは江戸時代ともいわれ、地域の保存会や小学生により、その伝統は脈々と受け継がれている。串原歌舞伎、山岡歌舞伎が市の指定文化財となっている他、東野や三郷、飯地、明智、上矢作でも地歌舞伎は盛ん。また飯地町の五毛座や三郷町の宮盛座といった芝居小屋も現存し、まさに地歌舞伎日本一といえる。

2月26日(日)には、恵那文化センターで伝統芸能大会が開かれ、地歌舞伎が披露される。



▲子ども歌舞伎も盛んに行われている

## 恵那峡温泉

温泉のデパート

えな自慢  
えな水 66



▲恵那峡の湖畔が見渡せる温泉

### ひと口メモ

恵那峡温泉の中には、鎌倉幕府が開かれた1192(建久3)年に発見され、落ち武者が傷の治療に用いて効能があったとされる歴史のあるラジウム温泉もある。この温泉は、日本で7番目に古い歴史を持つ温泉だともいわれている。

恵那峡温泉は、恵那峡のほとりに湧く温泉群の総称。恵那峡鉱泉、恵那峡ラジウム温泉、恵那峡湯元温泉、恵那峡奥戸温泉があり、成分や効能がそれぞれ異なる。

恵那峡鉱泉は単純弱放射能冷鉱泉、恵那峡ラジウム温泉は単純放射能泉で、神経痛やリウマチ、皮膚病などに効能がある歴史ある温泉。恵那峡湯元温泉、恵那峡奥戸温泉は、地下1,000㍍から湧き出る炭化物泉で、神経痛や筋肉痛、疲労回復などに効能がある。

恵那峡周辺には、日帰り入浴が楽しめる温泉施設や、露天風呂から景勝地の恵那峡が一望できるなど、日ごろの疲れを癒やすのに最適な温泉が多数ある。



▲古くから地元の人で守られてきたラジウム温泉の源泉の井戸

次号は2月15日号  
発行日は2月15日(水)です

広報えな No.167  
2012年(平成24年)  
2月1日発行

発行 恵那市役所/編集 企画課広報広聴係  
岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1 ☎(0573)26-2111/☎25-6150  
<http://www.city.ena.lg.jp/> ☒info@city.ena.lg.jp

『広報えな』2月1日号、1部当たりの印刷経費は約11.1円(税込み)です。



◀市安心安全メール配信システム  
(登録用QRコード)  
市WEB版文字放送システム  
(閲覧用QRコード)  
□お問い合わせ 防災情報課(内線317)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。  
この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい植物油を使用したインキで印刷されています。

